

文化

沈黙に向き合う

沖繩戦聞き取り47年

石原昌家

(17)



初めて未整備のアブチラガマ内に足を踏み入れる学生たち
=1975年5月25日、南城市糸数

私が「糸数アブチラガマ ベトナム戦争の報道を沖繩調査」を開始したのは、ベトナム戦争が終結した翌日の1975年5月1日だった。沖繩戦体験者たちは、アブチラガマでは、米軍の投降勧告にしたがわず、

すでに投降していた住民が壕内からの銃撃を受けて3人殺害されたうえ、投降を拒む壕内の「軍民」の多数が米軍による攻撃で被害を受けた。そこで壕内の出来事に最も精通していた知念周吉さんが、その体験から導き出したのは「アブチラ

アブチラガマの調査 ①

ユの「命どう宝」思想なのかと考えるようになった。さらに、米国のベトナム戦争をエスカレートさせたマクナ马拉元国防長官が、1997年にベトナムを訪

和 multidimensional 著『中国の旅』(朝日新聞社、1974年)で、日本軍による中国での残虐行為の聞き書きをイラストでより具体的に想像できるように工夫

独立して、晩聲社という出版社を立ち上げ、その社長に就いた。伊是名島虐殺事件と糸数アブチラガマの出来事だけでも出版したいという和多田社長の強い意向

を重ねてより多くの情報が盛り込まれ、最終的には25年も経て、『沖繩の旅ーアブチラガマと轟の壕』(集英社新書、2000年6月)で集大成した。

ガマの中へ

「命どう宝」にじむ教訓

学生と未知の暗闇へ

ガマの教訓」といふべき次の言葉だった。

「戦争は彼我の力量の差が歴然としていて敗けると思えば、なんら抵抗せずに降伏すればよいのである。ベトナム戦争のようにアメリカ軍にあればたたかれない前にベトナム人は降伏すれば、それほど殺されずにすんだの」というのが証言の結びの言葉だった。

「戦争は彼我の力量の差が歴然としていて敗けると思えば、なんら抵抗せずに降伏すればよいのである。ベトナム戦争のようにアメリカ軍にあればたたかれない前にベトナム人は降伏すれば、それほど殺されずにすんだの」というのが証言の結びの言葉だった。

「命どう宝」思想なのかと考えるようになった。さらに、米国のベトナム戦争をエスカレートさせたマクナ马拉元国防長官が、1997年にベトナムを訪

和 multidimensional 著『中国の旅』(朝日新聞社、1974年)で、日本軍による中国での残虐行為の聞き書きをイラストでより具体的に想像できるように工夫

独立して、晩聲社という出版社を立ち上げ、その社長に就いた。伊是名島虐殺事件と糸数アブチラガマの出来事だけでも出版したいという和多田社長の強い意向

を重ねてより多くの情報が盛り込まれ、最終的には25年も経て、『沖繩の旅ーアブチラガマと轟の壕』(集英社新書、2000年6月)で集大成した。

学生たちには日頃から、たとえ聞き取り相手の考えが「自分の考えと異なる」と思っていたとしても、「その考えがどこから生まれてくるのだろうか」という問題意識をもって聞き取りを深めるようにこそすれ、反発したり、議論したりはしないようにと指導していた。

「命どう宝」思想なのかと考えるようになった。さらに、米国のベトナム戦争をエスカレートさせたマクナ马拉元国防長官が、1997年にベトナムを訪

和 multidimensional 著『中国の旅』(朝日新聞社、1974年)で、日本軍による中国での残虐行為の聞き書きをイラストでより具体的に想像できるように工夫

独立して、晩聲社という出版社を立ち上げ、その社長に就いた。伊是名島虐殺事件と糸数アブチラガマの出来事だけでも出版したいという和多田社長の強い意向

を重ねてより多くの情報が盛り込まれ、最終的には25年も経て、『沖繩の旅ーアブチラガマと轟の壕』(集英社新書、2000年6月)で集大成した。

見取り図作成

「命どう宝」思想なのかと考えるようになった。さらに、米国のベトナム戦争をエスカレートさせたマクナ马拉元国防長官が、1997年にベトナムを訪

独立して、晩聲社という出版社を立ち上げ、その社長に就いた。伊是名島虐殺事件と糸数アブチラガマの出来事だけでも出版したいという和多田社長の強い意向

を重ねてより多くの情報が盛り込まれ、最終的には25年も経て、『沖繩の旅ーアブチラガマと轟の壕』(集英社新書、2000年6月)で集大成した。

(沖繩国際大学名誉教授
次回回は5月17日掲載)